視能訓練士学科午前部・夜間部　3つのポリシー

ディプロマポリシー

視能訓練士学科午前部は、**「高度化していく医療に対応できる知識と技術を備え、検査からロービジョンケアに至るまで幅広い業務が行える。また、常に患者様を支援するという意識を持ち、高いコミュニケーション能力を持った人材を養成する。」**ことを養成目的としています。

視能訓練士学科夜間部は、**「実務経験と生涯教育の積み重ねにより、地域医療と超高齢社会に順応した視能訓練士業務ができる。」**ことを養成目的としています。

両学科の目的を達成するために卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 視能訓練士として必要とされる知識・技能を身に付けている。
2. 健康・福祉の分野で社会に貢献するマインドを身に付けている
3. 他者や異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身につけている
4. 検査や訓練のみではなく、見え方の質を意識したアドバイスができる知識・技術を身につけている
5. 上記のマインド・知識・技術について継続的にキャリア開発をし続けることができる

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーと「建学の理念」「4 つの信頼」を達成するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した職業人教育のカリキュラムと、国際教育のプログラムを提供します。　プログラムの柱を以下に示します。

1. 医療人として必要な「身構え・気構え・心構え」およびコミュニケーション力を身に付ける為、臨床現場での業務を意識した学内実習や体験型学習プログラムを提供します。
2. 卒業後のキャリア開発への向上心を持続する為に、基礎学力の向上を図るプログラムと、自分で考え、自分で勉強する力を養う能動型の授業（アクティブラーニング等）を提供します。
3. キャリア設計の支援プログラムであるプロ養成講座と海外研修を中心とした国際人としての基礎プログラムである国際性講座を提供します。
4. 視能訓練士国家試験に合格する為に、専門基礎分野・専門分野を段階的に学ぶ事で基礎学力の向上を支援し、理解し易い授業を提供します。
5. 授業で行った学習内容をより定着させる為に、学生の状況に合わせた支援を行うプライベートレッスンを提供します。
6. ICT 教材を活用し、効果的・効率的な学習環境を提供します。

アドミッションポリシー

視能訓練士学科は「視能訓練士国家資格」を取得する強い意志と臨床現場にて活躍する向上心を持ち、人と接する上で問題なくコミュニケーションを図れる以下のような入学者を受け入れます。

1. 「視能訓練士」を目指す明確な動機を持ち目標を達成するための努力ができる人
2. 医療分野の学びに取り組む適性を持つ人
3. 視能訓練士業務を理解し、誠実に業務を行える人。